

## 平成27年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立阿品台中学校	校長氏名	田浦 由紀夫	生徒指導主事氏名	秋本 豪
-----	-------------	------	--------	----------	------

## 取組事例名 『出前掃除』

## 取組のねらい『キーワード 掃除を通じたかわり』

- ・掃除を通して、**親睦**を図る。
- ・小学生が、**掃除のやり方**を学び、今後の生活に活かす。
- ・中学生が、小学生から認められることを通して、**自己有用感**を抱く。

## 取組の具体的内容『キーワード 掃除の伝統の継承』

- ・小中生徒指導主事が連携し、各小学校における掃除の**役割分担**を作成する（原則出身小学校に戻る）。
- ・中学生が各出身小学校体育館に移動し、小学校管理職より**歓迎の挨拶**を受ける。
- ・中学生が、各**掃除担当場所に移動**する。
- ・**自己紹介**を行い、お互いに顔と名前を覚える。
- ・中学生が掃除リーダーとなり、**掃除開始の挨拶**をする。
- ・中学生が**掃除実践（※ 阿中掃除の五箇条）**をしながら、小学生に掃除を教える。
- ・掃除終了後、掃除ミーティングで**掃除の反省**を行い、お別れをする。
- ・中学生が体育館に戻り、小学校管理職より**お礼の挨拶**を受ける。
- ・小学校管理職に対して、**中学生代表が挨拶**をする。
- ・中学生に対して、**小学生が礼状**を書く。
- ・中学生が、小学生の**礼状を受け取る**。



小学校校長より歓迎挨拶



掃除実践の様子

## ※ 阿中掃除の五箇条

- ①無言掃除 ②阿中拭き ③気づき掃除 ④チャイム to チャイム ⑤スピード感

## 取組の課題・創意工夫『キーワード 教職員による適切な支援と中学生リーダーの育成』

## ・教職員による支援

中学生がリーダーシップをとりながら小学生と一緒に掃除実践をしているときに、教職員がいかに支援するかが課題である。具体的には、小学生が動きを理解できていない場合には小学校教職員による適切な支援、中学生が小学生の動かし方に苦慮している場合には中学校教職員による適切な支援が必要である。



教職員による支援

## ・中学生のリーダー育成

普段の掃除から「掃除リーダー」として育成をしておくことで、小学校へ行ってもいつも通りの姿勢で掃除に取り組ませるようにする。

また、小中の生徒指導主事が小学生・中学生の特性を配慮しながら役割分担することにより、中学生がリーダーシップを発揮して小学生・中学生がともに全力で掃除に取り組める環境づくりをする。



中学生による率先垂範

## 取組の成果（効果）『キーワード 憧れと自己有用感』

- ・小学生が中学生の掃除する姿に**憧れ**を抱く。

### 【小学生の感想より】

- ・「阿中拭き」をしている姿を見て、素敵だなと思いました。自分もそうなりたいと思いました。
- ・私が一番すごいなと思ったことは、便器をきれいに磨いていたことです。理由は、すみずみまできれいにやっていたからです。

- ・小学生の頃から、掃除に対する**価値観**を醸成する。

### 【小学生の感想より】

- ・僕はあまり掃除が好きではなかったけど、おかげで少し掃除が好きになりました。
- ・正しい掃除のやり方を知ることができました。これからは、隅々まで丁寧に掃除ができるように心がけます。

- ・中学生が小学生からの感謝状を受け取り、**自己有用感**を感じる。

### 【中学生の感想より】

- ・小学校の経験により、阿中拭きを中学校に入学してもためらわずすることができ、今でも役立っている。
- ・小学生に教えることで、自分の成長や伝統としての掃除の大切さを再確認することができた。
- ・「阿中拭き」や「気づき掃除」を教えることで、自ら伝統を繋いだことや、さらに受け継いでほしいと感じた。

## 今後の展開『キーワード 掃除の効果の活用』

- ・掃除をすることに対する全体的なムードは醸成することはできているものの、一人一人にとって主体的な取組になっているとは言いがたい。主体的な取組により、生徒一人一人の心をきれいにしたり広くしたりできるように導きたい。
- ・掃除を通して得られる充実感や達成感が、学ぶ姿勢や主体的な活動につながっていくようにしたい。

## 他校へのアドバイス『キーワード どこでも だれでも いつまでも』

### ・どこでも

本校にしかできない取組ではなく、やろうと思えばどの学校でもできるシンプルな取組である。

### ・だれでも

教職員が異動で不在になっても、つながろうと思えば続けることができるシンプルな取組である。

### ・いつまでも

特別なイベントとして単発で終わる実践ではなく、小中9年間を見据えて長く継続させることで掃除が当該中学校のみならず、当該中学校区の「校風」や「文化」となる。それが当該中学校区における「見えない生徒指導力」として効果を発揮するだけでなく、地域連携へと波及していくものと思われる。